

からだにいい水で 人々の健康に貢献する

—電解還元水で水・健康市場を開拓

日本トリム

水がビジネスになる時代を先読み

日本トリムは一九八二年に創業。創業者である森澤紳勝もりさわ しんかつ社長がかつて東南アジアなどを旅行した際に、生活水準が低い国々で人々が水を当たり前に見て大きな衝撃を受けるとともに、日本でも今後、必ず人々がお金を出して水を買う時代が来ると確信したという。当時の日本は、水にお金を出す時代ではなかったため、周囲からは反対を受けたが、森澤社長は信念のままに創業した。

事業展開にあたって、森澤社長は「単においしい水、きれいな水というだけではいけない。健康にいい水でなければならぬ」と考え、整水器に着目した。創業当初は販売が伸びず大変苦労したが、健康にいい水は人々に必ず受け入れられるという信念と、健康に合ったという利用者の感謝の声により、事業を続けてこられたという。

独自の電解還元水を糧に事業を発展

そうして成長を遂げた同社は、今やアルカリオン整水器の市場で約五四%のシェアを誇る。同社の武器は、家庭用医療機器である電解還元水整水器。電解還元水とは、水に電気エネルギーを与え、水を水素と酸素に分解（電気分解）する際に生まれる、水素をたくさ

ん含んだアルカリ性の水のことである。この電解還元水を飲むことで、胃もたれや胃の不快感がやわらぐとともに、胃腸の働きが助けられ、お通じが良くなる効果があるという。また、電解還元水に含まれる水素の働きによって、老化や万病の原因といわれる「活性酸素」を抑制することができ、産学共同研究でアンチエイジングや生活習慣病対策への研究成果が学会、論文で発表されている。この電解還元水を恒常的かつ安定的に生成できるのが、同社の整水器の独自技術である。

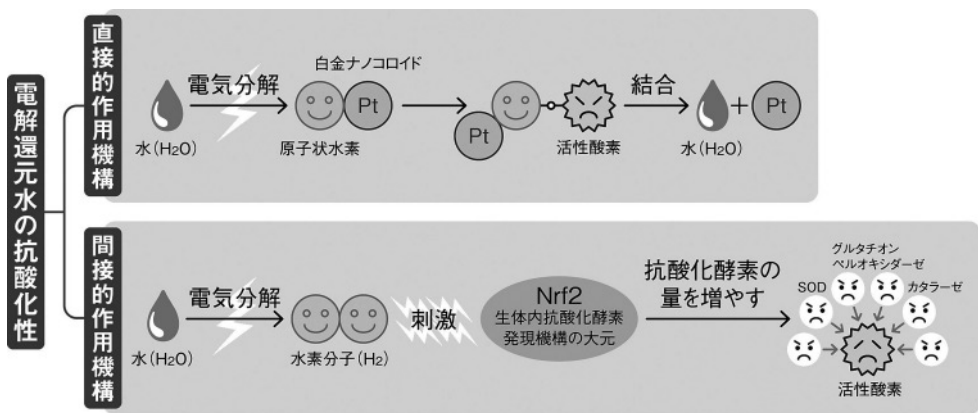
同社はさらに、電解還元水を医療、農業、畜産、工業といったさまざまな分野に応用できないかと研究開発を行っている。なかでも医療分野では、人工透析に使う水に着目している。この水を変えることでよりよい治療ができないかと臨床を進めており、かゆみの軽減、血圧の安定化、倦怠感の軽減といった症例が報告されている。

水の持つ機能を科学的に裏付け、最先端を追求

同社は事業展開にあたって水の質、水の持つ機能を徹底的に追求してきた。整水器については、一九九〇年代初めに大ブームが起り、一時販売が過熱し、過当な競争が起こった。その反動で、その効果や安全性に疑問の

整水器市場で売上シェアトップの日本トリム。同社はいち早く水の持つ機能に着目し、健康や、病気の予防のため、人々が日常的に体によい水を飲むことを目指して、水に関する研究開発と整水器の製造・販売を進め、事業を拡大してきた。

声が上がった時期があった。後に、京都大学を中心とした試験でその効果は確認されたが、その際同社は、今後は科学的な裏付けが必要になると考え、以来、京都大学、九州大学、



※この作用機構は、現時点で有力と考えられているものです。当社の研究結果は学術的検証であり、製品の性能および具体的な疾病に対する効果を保証・証明するものではありません

東北大学、台湾大学、スウェーデンのカロリンスカ研究所など国内外の大学、研究機関と共同研究を進め、電解還元水の機能や効果の検証を図っている。同社の西谷由実常務取締役は「共同研究により水研究の最先端を追いかけてきた結果、トップシェアをとることができた」と語る。

例えば、ある健康保険組合との共同研究では、メタボリックシンドローム対象者が同社の電解還元水を飲み続けた結果、パイロットデータではあるが、血圧の低下、善玉コレステロールの増加や悪玉コレステロールの減少といった結果が示されたという。

体によい水を世界中の人々に届ける

西谷常務は「今後は水の『量』から『質』が問われる時代になる。水の研究についても



TRIM ION NEO
医療機器製造販売認証番号
221AGBZX00290000

効能効果：胃腸症状の改善

- 胃もたれや胃の不快感をやわらげます
- 胃腸の働きを助け、お通じを良好にします

国際競争が激しさを増す」とみる。家電のように整水器が一家に一台置かれるようになるよう、同社は市場シェアの拡大よりも市場そのものの創出と拡大を追求する。同社では「ウォーターヘルスケアという新習慣」を提唱しており、西谷常務は「多くの人に日ごろから電解還元水を飲んでいただくことで予防医療や健康維持につなげていきたい」と語る。また、日本発の技術である機能水で世界進出を目指す。インドネシアでは二〇〇六年に現地企業との合弁会社を設立し、電解還元水をボトルで製造・販売している。その他、中国や台湾などアジア地域への展開も進めている。西谷常務は「現地の有力企業と提携し、提携先がすでに持つ販路を活用することでスピード感を持って展開を図りたい」と意気込む。そうした活動を進めるため、同社は、世界に先駆けて、水のさらなる機能を解明するために研究を推進していく。わが国では年々医療費の増大が進む。こうしたなか、健康の維持や病気の予防につながる水の機能がさらに解明されれば、人々の飲用が進み、結果的に医療費の削減にもつながると期待する。

二〇一二年、日本トリムは創業三〇周年を迎えた。第二の創業期と位置付け、体によい水を日本そして世界に広める取り組みを進めていく。

(産業政策本部)